

チャレンジ稲作！来年度に向かって！

土づくりとは？

豊かな実りは豊かな土壌で育まれます。次年度に向けて、基本技術の土づくりを励行しましょう。
土づくりとは、稲の根が伸長しやすく、円滑に機能するように土壌環境を整え、生産能力を向上・保全することです。「地力＝作物を生産する土壌の能力」を維持・向上させるために、下記の4点について生産コストも考慮して総合的に行いましょう。

- ①有機質資材（有機センター堆肥など）
- ②土づくり肥料（魚沼ロマンアイアンスター・魚沼ロマンソイルキーパーなど）
- ③深耕（目標深耕15cm、魚沼スケール君を活用する。）
- ④排水対策等の組み合わせ

！ JAお奨め土づくり資材

- ✓ 魚沼ロマンソイルキーパー
ケイ酸加里配合



標準施用量
40～60kg/10a

ケイ酸23%
腐植酸3%
配合で地力アップ

- ✓ 魚沼ロマンアイアンスター
高溶出ケイ酸配合



標準施用量
60～80kg/10a

腐植酸8%
鉄10.5%配合で
春先のワキの軽減

次年度水田雑草対策（クログワイ）

稲刈り後に深耕してクログワイの塊茎（球根）を地上部に出し、乾燥及び冬季凍死させて枯死させる方法です。地上部に出た塊茎は枯死しますが、土壌中の塊茎は次年度出てきますので、除草剤をうまく活用して発生を抑えましょう。

土壌診断を実施しましょう！！

土壌分析を実施し、土壌にあった土づくりを実施することでバランスのとれた土壌を作り上げましょう。
土壌採取方法や営農センターへの持込みの**注意事項**がありますので、まずは最寄りの営農センターへお問い合わせください。

・土壌診断の受付締切日 **10月31日(木) まで**

栽培記録カード未提出の場合は精算金に格差が生じます。未提出の方は早急に提出しましょう。